

済生会横浜市東部病院様のケース



薬剤部
大幸 淳先生



MRを一元管理できるシステムだったのでMONITAROを導入しました。

訪問ルールの遵守に

当院にて営業活動を行う場合、事前に訪問ルールをご理解いただき遵守いただくことが必要です。そのためのお知らせを病院ホームページに掲載していますが、宣伝許可申請に用いるヒアリングシートなど一部のファイルにはパスワード保護をかけています。**セキュリティの観点で、そのパスワードはMONITAROに登録をしたMRに限りお知らせしています。**

活動状況の把握に

MRは病院の入口でチェックインしてから活動していますが、その際に「訪問先」「目的」をMONITAROから入力してもらっています。これにより、**知らないうちに新薬の説明会が行われていたなどの問題も起きなくなり**、今ではMRの活動状況を画面上から簡単に把握できるようになりました。今日も20名ほどの活動記録が一覧表示されています。

医局でも活用しています

MRにはMONITAROを介して医師の連絡先をお伝えしているため、**医師とMRとのアポイント調整を効率化できています**。また、医局秘書がMONITAROの画面を確認できる環境を整備することで、MRとの面談場所確保や来訪状況の確認など、医師・薬剤部の業務効率化につながっています。